

# 資産と将来の負担明らかに

## バランスシートで分かります



福祉の拠点としてオープンした総合福祉会館

昨年度の本市バランスシートを作成しました。これにより、税金などを投入して整備された資産や、将来世代の負担となる負債などが分かります。

問い合わせは財政課 890 6542へ。

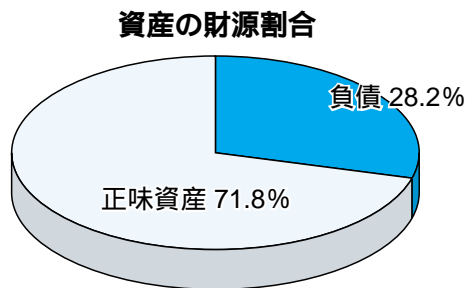
本紙11月1日号7でお知らせした決算は、昨年度一年間の収入と支出の結果です。公共サービス提供の状況が、一年分だけ表されています。

しかし、これだけでは、皆さんが納めた税金で、道路や学校などの資産がどれだけ形成されたのかを知ることはできません。

また、施設建設のための借入れがどれだけ残っているのかも分かりません。

一年間の収入と支出の流れだけでなく、その結果形成された資産の過去からの累積と、その財源の状況を把握するために作られたものがバランスシート(貸借対照表)です。

**バランスシートの見方**  
 バランスシートは、左の「借方」、右の「貸方」とに分かれます。



借方は、「資産」を表しています。ここには、一年間を超えて使える建物や道路を表す有形固定資産、貸付金や現金、将来収入が予定される未収金なども含まれます。

貸方は、その資産がどのように取得されたかという財源を表すものです。地方債のように今後の返済や支払いを伴ったため、将来の負担となる「負債」と、国・県支出金や、市税などの財源によつてすでに取得済みで、将来の負担がない「正味資産」で構成されています。

なお、資産は負債と正味資産の合計と同じ額です。

**本市のバランスシート**  
 平成十四年度の本市の資産は四千九百五十三億円で、十三年度と比べると、一・九%の増加。一方、負債は千三百九十七億円で三・四%増加しています。正味資産は三千五百五十六億円で一・三%の増加。市民一人当たりの正味資産は、百二十五万五千円あることになりました。

資産のうち、将来の負担がない正味資産の占める割合は七一・八%。これは、企業における自己資本比率に相当するものです。これまで皆さんが負担して築き上げてきた本市の資産が、どれだけあるかということが分かります。

### 本市のバランスシート ( )内は市民1人当たりの金額

借方 4,953億円 (174万8,000円)	貸方 4,953億円 (174万8,000円)
<b>資産の部 4,953億円 (174万8,000円)</b>	<b>負債の部 1,397億円 (49万3,000円)</b>
1 有形固定資産 4,706億円 (166万1,000円)	1 固定負債 1,298億円 (45万8,000円)
・市役所庁舎 ・保育所、老人センター ・清掃工場、埋立処分場 ・前橋テルサ ・農道、農業用水路 ・中心商店街立体駐車場 ・道路、市営住宅 ・消防庁舎、消防ポンプ車 ・学校、公民館	うち地方債残高 1,123億円 (39万6,000円)
2 投資など 122億円 (4万3,000円)	2 流動負債 99億円 (3万5,000円)
3 流動資産 125億円 (4万4,000円)	<b>正味資産の部 3,556億円 (125万5,000円)</b>
	1 国支出金による取得分 546億円 (19万3,000円)
	2 県支出金による取得 138億円 (4万9,000円)
	3 市税など一般財源による取得 2,872億円 (101万3,000円)

平成15年3月31日現在